令和６年度 財務情報

（自 令和６年４月１日　　至 令和７年３月３１日）

１．監査報告書

２．資金収支計算書

３．活動区分資金収支計算書

４．事業活動収支計算書

５．貸借対照表

６．財産目録

学校法人　大原学園

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 23 日

学校法人 大原学園
理 事 会 御中

学校法人 大原学園
監 事 高山昌茂
監 事 松丸隆一

私たちは、旧私立学校法（令和 5 年 5 月 8 日公布法律第 21 号）第 37 条第 3 項に基づく監査報告を行うため、学校法人大原学園の旧寄附行為（令和 6 年 8 月 29 日施行）第 9 条の規定に従い、学校法人大原学園の令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）の学校法人の業務および財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会および評議員会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況または理事の業務執行の状況に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

資金収支計算書

令和 6年 4月 1日　から
令和 7年 3月31日　まで

（単位　円）

収入の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	(24,368,630,000)	(24,363,888,094)	(4,741,906)
授業料収入	12,859,760,000	12,858,221,468	1,538,532
入学金収入	1,829,470,000	1,828,250,000	1,220,000
実習費収入	3,013,750,000	3,012,620,424	1,129,576
教材費収入	1,454,780,000	1,452,972,426	1,807,574
維持費収入	2,558,640,000	2,557,475,621	1,164,379
附帯事業収入	2,652,230,000	2,654,348,155	△ 2,118,155
手数料収入	(91,680,000)	(98,392,800)	(△ 6,712,800)
入学検定料収入	67,400,000	71,874,000	△ 4,474,000
証明手数料収入	24,280,000	26,518,800	△ 2,238,800
寄付金収入	(132,140,000)	(140,393,820)	(△ 8,253,820)
特別寄付金収入	126,180,000	133,854,820	△ 7,674,820
一般寄付金収入	5,960,000	6,539,000	△ 579,000
補助金収入	(1,969,480,000)	(1,967,219,431)	(2,260,569)
国庫補助金収入	19,000,000	27,081,677	△ 8,081,677
地方公共団体補助金収入	1,588,240,000	1,585,561,400	2,678,600
都道府県補助金収入	339,360,000	340,181,410	△ 821,410
市区町村補助金収入	11,880,000	11,203,944	676,056
東京都私学財団補助金収入	11,000,000	3,191,000	7,809,000
資産売却収入	(0)	(6,071,726)	(△ 6,071,726)
有価証券売却収入	0	3,126,976	△ 3,126,976
設備売却収入	0	2,944,750	△ 2,944,750
付随事業・収益事業収入	(757,680,000)	(757,792,217)	(△ 112,217)
補助活動収入	92,760,000	96,668,022	△ 3,908,022
受託事業収入	664,920,000	661,124,195	3,795,805
受取利息・配当金収入	(7,000,000)	(13,565,481)	(△ 6,565,481)
その他の受取利息配当金収入	7,000,000	13,565,481	△ 6,565,481
雑収入	(3,078,290,000)	(3,081,683,005)	(△ 3,393,005)
施設設備利用料収入	178,670,000	177,220,395	1,449,605
私学退職金社団交付金収入	369,810,000	371,124,192	△ 1,314,192
修繕負担金収入	120,000,000	119,944,983	55,017
その他の雑収入	2,409,810,000	2,413,393,435	△ 3,583,435
借入金等収入	(0)	(0)	(0)
前受金収入	(12,049,903,000)	(11,008,987,879)	(1,040,915,121)
授業料前受金収入	6,192,105,000	5,854,181,940	337,923,060
入学金前受金収入	1,618,270,000	1,201,999,200	416,270,800
実習費前受金収入	1,898,560,000	1,747,400,514	151,159,486
教材費前受金収入	809,065,000	767,968,195	41,096,805
維持費前受金収入	1,531,903,000	1,437,438,030	94,464,970
その他の収入	(9,370,000,000)	(9,342,579,063)	(27,420,937)
前期末未収入金収入	950,000,000	949,479,916	520,084
預り金収入	4,200,000,000	4,174,131,450	25,868,550
保証金回収収入	10,000,000	12,656,186	△ 2,656,186
仮払金回収収入	40,000,000	38,914,750	1,085,250
立替金回収収入	250,000,000	245,890,527	4,109,473
預り保証金収入	0	245,000	△ 245,000
仮受金収入	3,920,000,000	3,921,261,234	△ 1,261,234
資金収入調整勘定	(△ 11,380,000,000)	(△ 11,358,635,990)	(△ 21,364,010)
期末未収入金	△ 1,100,000,000	△ 1,084,173,533	△ 15,826,467
前期末前受金	△ 10,280,000,000	△ 10,274,462,457	△ 5,537,543
前年度繰越支払資金	(29,438,576,356)	(29,438,576,356)	
収入の部合計	69,883,379,356	68,860,513,882	1,022,865,474

（単位　円）

支出の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	（ 11,018,810,000 ）	（ 11,013,372,147 ）	（ 5,437,853 ）
教員人件費支出	7,433,820,000	7,435,335,973	△ 1,515,973
職員人件費支出	2,653,420,000	2,643,820,900	9,599,100
役員報酬支出	101,500,000	107,610,000	△ 6,110,000
退職金支出	830,070,000	826,605,274	3,464,726
教育研究経費支出	（ 6,798,260,000 ）	（ 6,794,237,097 ）	（ 4,022,903 ）
消耗品費支出	133,890,000	131,131,640	2,758,360
光熱水費支出	435,980,000	430,380,041	5,599,959
旅費交通費支出	292,360,000	290,906,027	1,453,973
奨学費支出	2,463,800,000	2,466,052,450	△ 2,252,450
福利費支出	40,420,000	40,908,449	△ 488,449
通信運搬費支出	279,110,000	276,755,186	2,354,814
印刷製本費支出	133,750,000	130,254,809	3,495,191
出版物費支出	641,530,000	639,594,685	1,935,315
修繕費支出	176,930,000	174,067,301	2,862,699
損害保険料支出	20,790,000	17,712,519	3,077,481
諸会費支出	25,630,000	26,155,673	△ 525,673
報酬委託手数料支出	1,823,090,000	1,832,905,684	△ 9,815,684
生徒活動補助金支出	320,560,000	320,347,599	212,401
補助活動事業支出	8,760,000	12,483,340	△ 3,723,340
雑費支出	1,660,000	4,581,694	△ 2,921,694
管理経費支出	（ 5,555,050,000 ）	（ 5,554,717,154 ）	（ 332,846 ）
消耗品費支出	76,620,000	74,472,624	2,147,376
光熱水費支出	197,790,000	194,373,206	3,416,794
旅費交通費支出	154,650,000	148,190,707	6,459,293
福利費支出	17,820,000	20,753,865	△ 2,933,865
通信運搬費支出	137,710,000	135,339,550	2,370,450
印刷製本費支出	60,460,000	59,427,927	1,032,073
出版物費支出	284,220,000	282,586,957	1,633,043
修繕費支出	81,270,000	75,081,918	6,188,082
損害保険料支出	8,530,000	7,635,916	894,084
諸会費支出	10,560,000	11,209,556	△ 649,556
報酬委託手数料支出	863,830,000	869,230,833	△ 5,400,833
広報費支出	1,913,760,000	1,914,326,189	△ 566,189
渉外費支出	30,040,000	27,601,978	2,438,022
公租公課支出	329,950,000	335,076,821	△ 5,126,821
賃借料支出	223,420,000	224,881,428	△ 1,461,428
共益費支出	1,163,880,000	1,156,825,391	7,054,609
私立大学等経常費補助金返還金支出	0	7,304,000	△ 7,304,000
雑費支出	540,000	10,398,288	△ 9,858,288
借入金等利息支出	（ 52,000,000 ）	（ 53,508,453 ）	（ △ 1,508,453 ）
借入金利息支出	52,000,000	53,508,453	△ 1,508,453
借入金等返済支出	（ 1,493,000,000 ）	（ 1,493,764,256 ）	（ △ 764,256 ）
借入金返済支出	1,493,000,000	1,493,764,256	△ 764,256
施設関係支出	（ 1,824,420,000 ）	（ 1,816,946,687 ）	（ 7,473,313 ）
土地支出	240,000,000	233,242,858	6,757,142
建物支出	1,288,250,000	1,280,103,570	8,146,430
構築物支出	1,800,000	5,296,573	△ 3,496,573
建設仮勘定支出	293,000,000	293,482,676	△ 482,676
保証金支出	1,370,000	4,821,010	△ 3,451,010
設備関係支出	（ 690,010,000 ）	（ 698,757,464 ）	（ △ 8,747,464 ）
教育研究用機器備品支出	553,940,000	553,318,052	621,948
管理用機器備品支出	77,690,000	82,200,409	△ 4,510,409
図書支出	11,830,000	13,178,543	△ 1,348,543
車両支出	4,000,000	7,100,020	△ 3,100,020
管理用ソフトウェア支出	42,550,000	42,960,440	△ 410,440
資産運用支出	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
その他の支出	（ 11,170,000,000 ）	（ 11,343,885,424 ）	（ △ 173,885,424 ）
前期末未払金支払支出	2,380,000,000	2,552,920,377	△ 172,920,377
預り金支出	4,430,000,000	4,411,077,580	18,922,420
前払金支払支出	160,000,000	162,416,541	△ 2,416,541
立替金支払支出	250,000,000	245,890,527	4,109,473
仮払金支払支出	40,000,000	38,914,750	1,085,250
仮受金支払支出	3,910,000,000	3,932,042,609	△ 22,042,609
預託金支出	0	14,040	△ 14,040
預り保証金支出	0	609,000	△ 609,000
〔予備費〕	（ 0 ） 0		0
資金支出調整勘定	（ △ 2,460,000,000 ）	（ △ 2,992,704,981 ）	（ 532,704,981 ）
期末未払金	△ 2,270,000,000	△ 2,828,278,022	558,278,022
前期末前払金	△ 190,000,000	△ 164,426,959	△ 25,573,041
翌年度繰越支払資金	（ 33,741,829,356 ）	（ 33,084,030,181 ）	（ 657,799,175 ）
支出の部合計	69,883,379,356	68,860,513,882	1,022,865,474

活動区分資金収支計算書

令和 6年 4月 1日　から
令和 7年 3月31日　まで

（単位　円）

		科　　目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	24,363,888,094
		手数料収入	98,392,800
		特別寄付金収入	133,854,820
		一般寄付金収入	6,539,000
		経常費等補助金収入	1,956,183,954
		付随事業収入	757,792,217
		雑収入	2,961,738,022
		教育活動資金収入計	30,278,388,907
	支出	人件費支出	11,013,372,147
		教育研究経費支出	6,794,237,097
		管理経費支出	5,554,717,154
		教育活動資金支出計	23,362,326,398
	差引		6,916,062,509
	調整勘定等		603,174,707
教育活動資金収支差額			7,519,237,216

		科　　目	金額
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備補助金収入	11,035,477
		施設設備売却収入	2,944,750
		施設整備等活動資金収入計	13,980,227
	支出	施設関係支出	1,816,946,687
		設備関係支出	698,757,464
		施設整備等活動資金支出計	2,515,704,151
	差引		△ 2,501,723,924
	調整勘定等		223,022,550
施設整備等活動資金収支差額			△ 2,278,701,374
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）			5,240,535,842

		科　　目	金額
その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	3,126,976
		預り金収入	4,174,131,450
		保証金回収収入	12,656,186
		仮払金回収収入	38,914,750
		立替金回収収入	245,890,527
		預り保証金収入	245,000
		仮受金収入	3,921,261,234
		小計	8,396,226,123
		受取利息・配当金収入	13,565,481
		修繕負担金収入	119,944,983
		その他の活動資金収入計	8,529,736,587
	支出	借入金等返済支出	1,493,764,256
		預り金支出	4,411,077,580
		立替金支払支出	245,890,527
		仮払金支払支出	38,914,750
		仮受金支払支出	3,932,042,609
		預託金支出	14,040
		預り保証金支出	609,000
		小計	10,122,312,762
		借入金等利息支出	53,508,453
		その他の活動資金支出計	10,175,821,215
	差引		△ 1,646,084,628
	調整勘定等		51,002,611
その他の活動資金収支差額			△ 1,595,082,017
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）			3,645,453,825
前年度繰越支払資金			29,438,576,356
翌年度繰越支払資金			33,084,030,181

事業活動収支計算書

令和 6年 4月 1日　から
令和 7年 3月31日　まで

（単位　円）

		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	(24,368,630,000)	(24,363,888,094)	(4,741,906)
		授業料	12,859,760,000	12,858,221,468	1,538,532
		入学金	1,829,470,000	1,828,250,000	1,220,000
		実習費	3,013,750,000	3,012,620,424	1,129,576
		教材費	1,454,780,000	1,452,972,426	1,807,574
		維持費	2,558,640,000	2,557,475,621	1,164,379
		附帯事業	2,652,230,000	2,654,348,155	△ 2,118,155
		手数料	(91,680,000)	(98,392,800)	(△ 6,712,800)
		入学検定料	67,400,000	71,874,000	△ 4,474,000
		証明手数料	24,280,000	26,518,800	△ 2,238,800
		寄付金	(132,140,000)	(140,787,820)	(△ 8,647,820)
		特別寄付金	126,180,000	133,854,820	△ 7,674,820
		一般寄付金	5,960,000	6,539,000	△ 579,000
		現物寄付	0	394,000	△ 394,000
		経常費等補助金	(1,951,390,000)	(1,956,183,954)	(△ 4,793,954)
		国庫補助金	17,000,000	22,479,000	△ 5,479,000
		地方公共団体補助金	1,584,950,000	1,585,561,400	△ 611,400
		都道府県補助金	337,560,000	337,072,410	487,590
		市区町村補助金	11,880,000	10,900,144	979,856
		東京都私学財団補助金	0	171,000	△ 171,000
		付随事業収入	(757,680,000)	(757,792,217)	(△ 112,217)
		補助活動収入	92,760,000	96,668,022	△ 3,908,022
		受託事業収入	664,920,000	661,124,195	3,795,805
		雑収入	(2,958,290,000)	(2,961,738,022)	(△ 3,448,022)
		施設設備利用料	178,670,000	177,220,395	1,449,605
		私学退職金社団交付金収入	369,810,000	371,124,192	△ 1,314,192
		その他の雑収入	2,409,810,000	2,413,393,435	△ 3,583,435
		教育活動収入計	30,259,810,000	30,278,782,907	△ 18,972,907
		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
教育活動収支	事業活動支出の部	人件費	(10,982,010,000)	(10,981,359,403)	(650,597)
		教員人件費	7,433,820,000	7,435,335,973	△ 1,515,973
		職員人件費	2,653,420,000	2,643,820,900	9,599,100
		役員報酬	101,500,000	107,610,000	△ 6,110,000
		退職給与引当金繰入額	339,000,000	339,428,531	△ 428,531
		退職金	454,270,000	455,163,999	△ 893,999
		教育研究経費	(8,816,320,000)	(8,818,089,225)	(△ 1,769,225)
		消耗品費	133,890,000	131,131,640	2,758,360
		光熱水費	435,980,000	430,380,041	5,599,959
		旅費交通費	292,360,000	290,906,027	1,453,973
		奨学費	2,463,800,000	2,466,052,450	△ 2,252,450
		福利費	40,420,000	40,908,449	△ 488,449
		通信運搬費	279,110,000	276,755,186	2,354,814
		印刷製本費	133,750,000	130,254,809	3,495,191
		出版物費	641,530,000	640,907,426	622,574
		修繕費	176,930,000	174,067,301	2,862,699
		損害保険料	20,790,000	17,712,519	3,077,481
		諸会費	25,630,000	26,155,673	△ 525,673
		報酬委託手数料	1,823,090,000	1,832,905,684	△ 9,815,684
		生徒活動補助金	396,560,000	401,048,167	△ 4,488,167
		補助活動事業	8,760,000	12,482,495	△ 3,722,495
		減価償却額	1,942,060,000	1,941,839,664	220,336
		雑費	1,660,000	4,581,694	△ 2,921,694
		管理経費	(6,387,890,000)	(6,387,496,690)	(393,310)
		消耗品費	76,620,000	74,472,624	2,147,376
		光熱水費	197,790,000	194,373,206	3,416,794
		旅費交通費	154,650,000	148,190,707	6,459,293
		福利費	17,820,000	20,753,865	△ 2,933,865
		通信運搬費	137,710,000	135,339,550	2,370,450
		印刷製本費	60,460,000	59,427,927	1,032,073
		出版物費	284,220,000	283,149,552	1,070,448
		修繕費	81,270,000	75,081,918	6,188,082
		損害保険料	8,530,000	7,635,916	894,084
		諸会費	10,560,000	11,209,556	△ 649,556
		報酬委託手数料	863,830,000	869,230,833	△ 5,400,833
		広報費	1,913,760,000	1,914,326,189	△ 566,189
		渉外費	30,040,000	27,601,978	2,438,022
		公租公課	329,950,000	335,076,821	△ 5,126,821
		賃借料	223,420,000	224,881,428	△ 1,461,428
		共益費	1,163,880,000	1,156,825,391	7,054,609
		私立大学等経常費補助金返還金	0	7,304,000	△ 7,304,000
		減価償却額	832,840,000	832,216,941	623,059
		雑費	540,000	10,398,288	△ 9,858,288
		徴収不能額等	(0)	(458,232)	(△ 458,232)
		徴収不能引当金繰入額	0	458,232	△ 458,232
		教育活動支出計	26,186,220,000	26,187,403,550	△ 1,183,550
		教育活動収支差額	4,073,590,000	4,091,379,357	△ 17,789,357

（単位　円）

		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	(7,000,000)	(13,565,481)	(△ 6,565,481)
		その他の受取利息・配当金収入	7,000,000	13,565,481	△ 6,565,481
		その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
		教育活動外収入計	7,000,000	13,565,481	△ 6,565,481
		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
	事業活動支出の部	借入金等利息	(52,000,000)	(53,508,453)	(△ 1,508,453)
		借入金利息	52,000,000	53,508,453	△ 1,508,453
		その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
		教育活動外支出計	52,000,000	53,508,453	△ 1,508,453
	教育活動外収支差額		△ 45,000,000	△ 39,942,972	△ 5,057,028
経常収支差額			4,028,590,000	4,051,436,385	△ 22,846,385
		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	(0)	(5,871,716)	(△ 5,871,716)
		有価証券売却差額	0	2,926,976	△ 2,926,976
		その他資産売却差額	0	2,944,740	△ 2,944,740
		その他の特別収入	(138,090,000)	(130,980,460)	(7,109,540)
		施設設備補助金	18,090,000	11,035,477	7,054,523
		修繕負担金	120,000,000	119,944,983	55,017
		特別収入計	138,090,000	136,852,176	1,237,824
		科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
	事業活動支出の部	資産処分差額	(26,000,000)	(32,621,642)	(△ 6,621,642)
		不動産処分差額	17,000,000	19,491,127	△ 2,491,127
		その他資産処分差額	9,000,000	13,130,515	△ 4,130,515
		その他の特別支出	(0)	(0)	(0)
		特別支出計	26,000,000	32,621,642	△ 6,621,642
	特別収支差額		112,090,000	104,230,534	7,859,466
〔予備費〕			(0) 0		0
基本金組入前当年度収支差額			4,140,680,000	4,155,666,919	△ 14,986,919
基本金組入額合計			△ 1,435,080,000	△ 3,339,472,299	1,904,392,299
当年度収支差額			2,705,600,000	816,194,620	1,889,405,380
前年度繰越収支差額			△ 24,083,795,624	△ 24,083,795,624	0
翌年度繰越収支差額			△ 21,378,195,624	△ 23,267,601,004	1,889,405,380

（参考）

事業活動収入計	30,404,900,000	30,429,200,564	△ 24,300,564
事業活動支出計	26,264,220,000	26,273,533,645	△ 9,313,645

貸借対照表

令和 7年 3月31日

（単位　円）

資産の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
固定資産	(118,556,396,055)	(118,941,832,292)	(△ 385,436,237)
有形固定資産	< 117,006,061,223 >	< 117,384,833,321 >	< △ 378,772,098 >
土地	56,169,133,069	55,935,890,211	233,242,858
建物	58,138,201,590	58,944,721,919	△ 806,520,329
構築物	94,592,980	98,898,224	△ 4,305,244
教育研究用機器備品	1,702,994,748	1,639,800,200	63,194,548
管理用機器備品	430,054,930	458,856,925	△ 28,801,995
図書	177,529,614	170,119,217	7,410,397
車両	17,630,396	17,687,915	△ 57,519
建設仮勘定	275,923,896	118,858,710	157,065,186
特定資産	< 550,000,000 >	< 550,000,000 >	< 0 >
退職給与引当特定資産	550,000,000	550,000,000	0
その他の固定資産	< 1,000,334,832 >	< 1,006,998,971 >	< △ 6,664,139 >
借地権	529,455,649	529,455,649	0
電話加入権	27,589,066	30,385,353	△ 2,796,287
施設利用権	783,705	1,109,436	△ 325,731
管理用ソフトウェア	100,777,311	94,984,879	5,792,432
保証金	94,642,305	102,477,481	△ 7,835,176
有価証券	235,600,000	235,800,000	△ 200,000
長期前払費用	11,472,756	12,786,173	△ 1,313,417
預託金	14,040	0	14,040
流動資産	(34,424,836,983)	(30,647,719,265)	(3,777,117,718)
現金預金	33,084,030,181	29,438,576,356	3,645,453,825
未収入金	1,084,173,994	949,938,609	134,235,385
販売用品	91,943,058	93,817,549	△ 1,874,491
前払金	164,689,750	165,386,751	△ 697,001
資産の部合計	152,981,233,038	149,589,551,557	3,391,681,481

負債の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
固定負債	(7,000,926,084)	(8,269,855,248)	(△ 1,268,929,164)
長期借入金	4,288,508,465	5,517,482,721	△ 1,228,974,256
退職給与引当金	2,678,942,133	2,710,954,877	△ 32,012,744
長期未払金	18,141,486	25,719,650	△ 7,578,164
預り保証金	15,334,000	15,698,000	△ 364,000
流動負債	(15,477,448,263)	(14,972,504,537)	(504,943,726)
短期借入金	1,228,974,256	1,493,764,256	△ 264,790,000
未払金	2,835,856,186	2,552,920,377	282,935,809
前受金	11,022,833,329	10,288,307,907	734,525,422
預り金	280,587,124	517,533,254	△ 236,946,130
仮受金	109,197,368	119,978,743	△ 10,781,375
負債の部合計	22,478,374,347	23,242,359,785	△ 763,985,438

純資産の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
基本金	(153,770,459,695)	(150,430,987,396)	(3,339,472,299)
第１号基本金	151,960,459,695	148,620,987,396	3,339,472,299
第４号基本金	1,810,000,000	1,810,000,000	0
繰越収支差額	(△ 23,267,601,004)	(△ 24,083,795,624)	(816,194,620)
翌年度繰越収支差額	△ 23,267,601,004	△ 24,083,795,624	816,194,620
純資産の部合計	130,502,858,691	126,347,191,772	4,155,666,919
負債及び純資産の部合計	152,981,233,038	149,589,551,557	3,391,681,481

財　産　目　録

令和7年3月31日現在

Ⅰ 資 産 総 額	152,981,233,038 円
内　基本財産	117,006,061,223 円
運用財産	35,975,171,815 円
収益事業用財産	0 円
Ⅱ 負 債 総 額	22,478,374,347 円
Ⅲ 正 味 財 産	130,502,858,691 円

区　分		金　額
Ⅰ 資 産 総 額		152,981,233,038 円
1. 基本財産		
土　地	99,979.70 ㎡	56,169,133,069 円
建　物	243,821.29 ㎡	58,138,201,590 円
構築物		94,592,980 円
教育研究用機器備品	101,831 点	1,702,994,748
管理用機器備品	10,724 点	430,054,930 円
図　書	65,223 冊	177,529,614 円
車　両	41 台	17,630,396 円
建設仮勘定		275,923,896 円
2. 運用財産		
預金・現金		33,084,030,181 円
特定資産		550,000,000 円
有価証券		235,600,000 円
その他		2,105,541,634 円
3. 収益事業用財産		0 円
Ⅱ 負 債 総 額		22,478,374,347 円
1. 固定負債		
長期借入金		4,288,508,465 円
退職給与引当金		2,678,942,133 円
その他		33,475,486 円
2. 流動負債		
短期借入金		1,228,974,256 円
未払金		2,835,856,186 円
前受金		11,022,833,329 円
その他		389,784,492 円
Ⅲ 正 味 財 産（資産総額－負債総額）		130,502,858,691 円

令和６年度事業報告書

（自　令和６年４月１日　　至　令和７年３月３１日）

学校法人　大原学園

１．法人の概要

（１）沿革

学校法人大原学園は、昭和３２年に大原簿記学校として東京都千代田区の各種学校として創立されました。昭和５１年１１月の専修学校制度改革により専修学校・大原簿記学校に組織を変更し、昭和５４年には準学校法人・大原学園に組織変更しました。その後、昭和５７年に学校法人・大原学園に組織変更して現在に至っております。

学園では、実学教育の機関として社会の変化や教育ニーズの多様化に対応しつつ、学校種別ごとの特性を活かした教育の質向上を図り、また少子高齢化やグローバル化の進展に伴い、国内外の学生に対する教育機会の拡充を推進してまいりました。

その結果、令和７年４月現在では、大学院大学をはじめ、大学１校、高等学校１校、幼稚園１校、専修学校９４校、各種学校（日本語学校）１校の計９９校を運営しています。

（２）設置する学校及び施設［令和７年４月現在］

令和６年度には「高崎情報ＩＴクリエイター専門学校（高崎市）」「東京立川情報ＩＴクリエイター専門学校（立川市）」「東京町田歯科衛生学院専門学校（町田市）」「甲府情報ＩＴクリエイター専門学校（甲府市）」「熊本情報ＩＴクリエイター専門学校（熊本市）」の５校を開校し、「大原スポーツ公務員専門学校熊本校（熊本市）」の１校を廃校しました。

令和７年度は４月に「東京経営大学（千代田区）」「山形情報ＩＴクリエイター専門学校（山形市）」「宇都宮情報ＩＴクリエイター専門学校（宇都宮市）」「千葉情報ＩＴクリエイター専門学校（津田沼市）」「東京池袋情報ＩＴクリエイター専門学校（豊島区）」「横浜情報ＩＴクリエイター専門学校（横浜市）」の６校を開校します。

＊1：令和７年４月校名変更　／　＊2：令和７年４月開校

北海道　４校

札　幌：大原簿記情報専門学校札幌校
札　幌：大原医療福祉専門学校
札　幌：大原法律公務員専門学校
函　館：大原公務員・医療事務・語学専門学校函館校

東北　５校

盛　岡：盛岡情報ＩＴクリエイター専門学校
盛　岡：大原ビジネス公務員専門学校盛岡校
山　形：山形スポーツ医療福祉専門学校（＊1）
山　形：大原ビジネス公務員専門学校山形校（＊1）
山　形：山形情報ＩＴクリエイター専門学校（＊2）

関東　４０校

水道橋：大原大学院大学
水道橋：東京経営大学（＊2）
水道橋：大原学園美空高等学校
府　中：府中ひばり幼稚園
水　戸：大原ビジネス公務員専門学校水戸校
水　戸：水戸情報ＩＴクリエイター専門学校
宇都宮：宇都宮スポーツ医療専門学校（＊1）
宇都宮：大原ビジネス公務員専門学校宇都宮校（＊1）
宇都宮：宇都宮情報ＩＴクリエイター専門学校（＊2）
高　崎：大原スポーツ医療保育専門学校高崎校
高　崎：大原ビジネス公務員専門学校高崎校
高　崎：高崎情報ＩＴクリエイター専門学校
大　宮：大原簿記情報ビジネス専門学校大宮校
大　宮：大原法律公務員専門学校大宮校
大　宮：大原医療秘書福祉専門学校大宮校
大　宮：大原こども専門学校
千　葉：大原簿記公務員専門学校千葉校
千　葉：大原医療保育福祉専門学校千葉校
津田沼：大原ビジネス公務員専門学校津田沼校（＊1）
津田沼：千葉情報ＩＴクリエイター専門学校（＊2）
柏　：大原簿記法律専門学校柏校
水道橋：大原簿記学校
水道橋：大原法律専門学校
水道橋：大原医療秘書福祉保育専門学校
水道橋：東京情報クリエイター工学院専門学校
水道橋：東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校（＊1）
水道橋：東京アニメーター学院専門学校
池　袋：大原ビジネス公務員専門学校池袋校
池　袋：東京池袋情報ＩＴクリエイター専門学校（＊2）
立　川：大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
立　川：東京立川歯科衛生学院専門学校
立　川：東京立川情報ＩＴクリエイター専門学校
町　田：大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校
町　田：東京町田情報ＩＴクリエイター専門学校
町　田：東京町田歯科衛生学院専門学校

横　浜:大原簿記情報ビジネス専門学校横浜校
横　浜:大原法律公務員専門学校横浜校
横　浜:大原医療秘書福祉保育専門学校横浜校
横　浜:横浜情報ＩＴクリエイター専門学校（*2）
船　堀:大原日本語学院

北陸　８校

金　沢:大原簿記法律観光専門学校金沢校
金　沢:金沢情報ＩＴクリエイター専門学校
金　沢:金沢ウエディング・ビューティー専門学校
金　沢:大原医療・スポーツ専門学校
福　井:大原ビジネス公務員専門学校福井校（*1）
福　井:福井美容ビューティー製菓保育専門学校（*1）
福　井:福井情報ＩＴクリエイター専門学校
福　井:福井医療・スポーツ専門学校（*1）

甲信越　７校

甲　府:大原医療保育スポーツ専門学校甲府校
甲　府:大原ビジネス公務員専門学校甲府校
甲　府:甲府情報ＩＴクリエイター専門学校
長　野:大原情報ビジネス医療専門学校長野校（*1）
長　野:大原公務員専門学長野校（*1）
松　本:大原簿記情報ビジネス医療専門学校松本校
松　本:大原スポーツ公務員専門学校松本校

関西　１７校

京　都:大原簿記ビジネス公務員専門学校京都校
京　都:京都歯科衛生学院専門学校
新大阪:大原簿記専門学校大阪校
新大阪:大原法律公務員専門学校大阪校（*1）
新大阪:大阪保育こども教育専門学校
新大阪:大阪歯科衛生学院専門学校
難　波:大原簿記法律専門学校難波校
難　波:大阪情報ＩＴクリエイター専門学校
難　波:大阪医療スポーツ専門学校（*1）
難　波:大阪ﾎﾃﾙ鉄道&ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙﾋﾞｭｰﾃｨｰ専門学校（*1）
梅　田:大原簿記法律専門学校梅田校
梅　田:大原医療福祉製菓専門学校梅田校
神　戸:大原簿記専門学校神戸校
姫　路:姫路情報ＩＴクリエイター専門学校
姫　路:大原ビジネス公務員保育専門学校姫路校
和歌山:大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校
和歌山:大原情報医療保育専門学校和歌山校

中国　４校

岡　山:大原ビジネス公務員専門学校岡山校
岡　山:岡山情報ＩＴクリエイター専門学校
広　島:大原ビジネス公務員専門学校広島校
広　島:広島情報ＩＴクリエイター専門学校

九州　１４校

福　岡:大原簿記ビジネス専門学校福岡校
福　岡:大原公務員専門学校福岡校（*1）
福　岡:福岡保育こども医療福祉専門学校（*1）
福　岡:福岡情報ＩＴクリエイター専門学校
北九州:大原ビジネス公務員専門学校北九州校
北九州:北九州医療製菓専門学校（*1）
北九州:北九州情報ＩＴクリエイター専門学校
北九州:専門学校西日本昴自動車工科大学校
熊　本:大原ビジネス公務員専門学校熊本校)
熊　本:熊本保育医療スポーツ専門学校
熊　本:熊本情報ＩＴクリエイター専門学校
大　分:大分情報ＩＴクリエイター専門学校
大　分:大原ビジネス公務員専門学校大分校
大　分:大分昴自動車工科専門学校

（３）学生等人数、教職員数、役員数［令和６年５月現在］

① 学生等人数　　１９，８９５名（大学院大学、専修学校、各種学校、高等学校、幼稚園 合計）
② 教職員数　　１，６１６名（非常勤を除く）
③ 役員数　　９名（内：理事７名、監事２名）

２．事業の概要

（１）大学院大学（四大卒・四年制専門学校卒対象）

①３つの強み

大学や実務界から豊富な経験と確かな実績を誇る教授陣を招聘し、時代が求める実務能力はもとより、会計倫理に優れ、国際化に対応できる学術的理論にも精通した日本を代表しうる

会計のプロフェッショナルを養成します。授業そのものに明確な目的をもたせ、切磋琢磨の風潮をもって目的完遂にたゆまぬ努力をする、学校法人大原学園の伝統的教育理念を引き継ぐものです。大原大学院大学には次の３つの強みがあります。

カリキュラム：高度で専門的な知識を段階的・体系的に学べる、また、双方向性の高い授業を実現

教　　員：研究者教員と実務家教員をバランスよく配置、また、担任制で一人ひとりの能力に合わせた、きめ細かな指導

サポート体制：大原学園の各種受験講座を課外学習制度として無料提供するなど、充実した資格サポート・就職サポート体制

②設置課程等

専門職学位課程

研究科名称：会計研究科　会計専攻

課　　程：専門職学位課程

学 位 名 称：会計修士(専門職) ＊英文名　Master of Business Administration in Accounting

修 業 年 限：標準　２年

（２）専修学校 専門課程（高卒・短大卒・四大卒対象）

①教育信条

将来の社会発展のために、学習意欲がある全ての世代の方に学修機会を提供し、将来の社会発展・平和に寄与できる人材を育成する。

②教育目的

「簿記、税務、情報処理、法律、行政、医療、保育、福祉、スポーツ、製菓、美容、歯科衛生、自動車整備並びにこれらのビジネス等に関わる教育及び人格の陶冶を行い、有為な産業人を育成する」ことを目的としています。

③教育ストーリー

大原学園では、入学から卒業までの全期間をもって完結する１つのストーリーと考え、教育プログラムを３段階（４期）に分けて構成しております。

(ⅰ) 第１段階『成功体験期』

初めて専門教育を受ける学生が、卒業までの学習を続けられる自信をつける期間であり、各系統での短期目標を達成することで「やればできる」という成功体験を、身を以て体験し、次のステップに向けてのモチベーションを高める期間となります。

(ⅱ) 第２段階 前期『専門学習期』

成功体験期で学習内容を絞り込んだ学習から、資格難易度の高度化、学習科目の多科目化、より実戦に近い技術の習得など、コースの特色に合わせた本格的な学習を通して、高度な知識の定着と技術の習得を目的とする期間となります。

(ⅲ) 第２段階 後期『実践期』

専門学習期までに身につけた高度な知識や技術を実践に結びつける期間であり、最新実務の知識や技術を学び、実践的な学習や演習、校外実習、インターンシップ等を通じて、目標としている就職先で必要となる実践力を身につける期間となります。

(ⅳ) 第３段階『入社準備期』

専門性の総まとめを行い、入社後には即戦力として活躍できるように最終仕上げを行う期間であり、これまでの教育の横断的な復習により、高い実践力を磨き上げて、社会人になるにあたっての意識改革を図り、入社後にスムーズなスタートを切れるよう、指導する期間となります。

④設置コース（系統）

国家公務員・地方公務員 ／ 警察官・消防官 ／ 救急救命士
公認会計士・税理士 ／ ビジネス ／ 情報ＩＴ ／ ゲーム・ＣＧ・デザイン
医療事務 ／ 歯科衛生士 ／ 介護福祉士 ／ 保育士・幼稚園教諭 ／ スポーツ・トレーナー
ホテル・鉄道・トラベル ／ ブライダル ／ ビューティー ／ 美容師 ／ 声優タレント
マンガ・イラスト・アニメ ／ 声優 ／ 製菓・製パン／ 自動車整備

（３）資格の講座〔社会人講座〕（社会人・大学生対象）

①大原方式

国家試験や各種検定の合格を目指す受講者が、最高の学習効果を得ることができるように大原では永年にわたる研究とノウハウを結集し、「大原方式」という独自の教育システムを確立しています。そしてその成果は、合格実績という確かな数字として証明されています。

『大原方式』　講師・教材・カリキュラムを軸に、「学習継続のためのサポート体制」、「通学・通信・Ｅラーニング・研修・大学内講座等の多彩な学習スタイル」で構成されています。

通学講座：教室通学・映像通学・集中資格取得（全日・夜間）コース
通信講座：Web 通信、オンライン校、ＤＶＤ通信、パススル
企業研修、大学内講座

②設置講座

公務員（国家総合職・一般職、地方上級、市役所） ／ 警察官・消防官
公認会計士 ／ 税理士 ／ 簿記 ／ 建設業経理士
地方公会計 ／ 農業簿記 ／ ＦＰ(ファイナンシャル・プランナー)
行政書士 ／ 宅地建物取引士 ／社会保険労務士 ／ 中小企業診断士
旅行業務取扱管理者 ／ 仕事に役立つシリーズ ／ 色彩検定（カラーコーディネーター）
情報処理技術者 ／ 情報処理安全確保支援士 ／ パソコン（ＭＯＳ）
介護職員初任者研修 ／ 介護福祉士（実務者研修・受験対策） ／ ケアマネージャー
社会福祉士 ／ 医療事務 ／ 保育科 ／ 保育士等キャリアアップ研修
秘書検定 ／ TOEIC®L&R攻略 ／ 日本語教師 ／ キャリアコンサルタント

（４）高等学校（通信制・単位制／普通科・男女共学）

①建学の精神

人間形成の基盤でもある高校３年間を、学業・生活面の両方において「心の教育」を実践しております。

具体的には、日々の高校生活のなかで生まれる様々な体験や学びが、生徒の興味とやる気を引き出し、豊かな人間性を育みます。

加えて「自ら学び・考える力」を養うことで、大学や短大・専門学校などへの進学が叶い、最終的には社会に羽ばたくための様々な専門知識やコミュニケーション能力を養い、社会に貢献できる生徒の育成を目指しています。

②学校名に込めた想い

令和６年４月より「大原学園高等学校」から「大原学園 美空高等学校」に校名を変更いたしました。

校名には、美しい青空に飛び立てる純粋で綺麗な心を持ち、生徒が日々の学習を通じて成長し、次の進路や将来に向けて大きく羽ばたいて欲しいとの願いが込められております。

③教育理念

「豊かな人間性を育む学校生活」

・平成 21 年年 4 月開校以来、生徒一人ひとりの個性や長所を伸ばし、日々興味をもって勉強できる学校づくりに取り組んでおります。
日々の高校生活を通じて小さな成功体験の積み重ねを「やる気」と「自信」に繋げ、希望に満ちた「新たな未来への扉」を見つけられるような教育を行っております。

・高校生活を彩る多くの学校行事があり、高校卒業に向けた学習だけでなく、資格取得へのチャレンジ、文化祭や体育祭など充実した高校生活が過ごせる環境があります。

・大原グループ内の専門学校と専門分野で連携しており、高校卒業に向けた学習に加え、希望されるコースによって、専門分野の学習も高校在学中に学ぶことができます。

・美空高校は生徒が安心して学べる学習環境に加え、生徒一人ひとりを深く見つめ、楽しく、温もりのある高校生活を送れるようサポートする体制が整っております。生徒が仲間との友情の輪を広げ、自ら目標を見つけ、目標に向かって行動できるよう、教職員一同、生徒としっかりと向き合い、温もりのある学校づくりを実践しております。

④設置コース

「通学型（週５日・週３日コース）」「オンライン・週１日通学コース」

（５）幼稚園

①目的

人間形成の基盤でもある就学前の大切な幼児期を、しっかりした教育内容に基づき、体験と活動を通じて園児のより良い「育ち」を目指し、知育・徳育・体育のバランスの取れた教育を目標とし、園児の「生きる力」「自己肯定感」を育みます。

②教育理念

幼稚園では「愛を込めて向かい合い保育」を提唱しています。

園児と教諭が愛を込めて向かい合い、目線を合わせながら心と心のコミュニケーションを図るものです。これにより園児と感動や発見を共有し、心情を把握して個性を大切に育む事ができます。

(ⅰ) 元気に遊ぶ子供

友達と一緒に遊ぶ中で、いろいろな体験をします。

仲良くするとうれしいこと、喧嘩するといやなこと・・・。これらの経験を通じて自分をコントロールすることや協調することを学びます。また、安全で健康に過ごすために、基本的な生活習慣をしっかり身に付けていきます。

(ⅱ) 素直に表現できる子供

美しいと感じる心、素朴な疑問や興味、楽しいこと、うれしいこと、自分の思ったことを、素直に表現できる豊かな心を育てます。

(ⅲ) 最後までやり通す子供

始めたことを最後までやり通す根気を育てます。

失敗しながらもやり遂げる喜びが、次の活動への自発的な取り組みにつながり、自主性のある粘り強い子に育てます。

(ⅳ) お互いを大切にし合う子供

自己中心的な考え方から、集団の一人として相手のことを考え、大切にする心を育てます。友達が困っている時に助けにいくなど、自分がされるとうれしいことを友達にする、自分がされるといやなことをしないように援助します。友達に対する思いやりの心を育てます。

(ｖ) 自然を大切にする子供

四季折々の自然の中で、多くの発見・体験ができます。

子ども達は、自然の中で自ら遊びを見いだし、創造し、命あるものの不思議さや偉大さを学びます。そのことから自然を敬う心を育てます。

③運営状況

受入れクラス　１年保育（年長５歳児）／２年保育（年中４歳児）／３年保育（年少３歳児）
４年保育(満３歳児)
他、未就園児教室および預かり保育を実施

（６）各種学校（留学生対象日本語教育）

①建学の精神

「感奮興起」

“事を為すに感奮し、興起せよ”と飽くなきチャレンジ精神を植え付け、学習の過程での小さな成功体験の積み重ねにより人格の陶冶を図ります。

②目的

外国人留学生に対する日本語教育を通じて、諸外国と日本の相互理解ならびに友好関係の増進を図り、以って世界の平和と発展に寄与することを目的としています。

③目標

開校以来、世界３０か国以上の国々から来日し、大学や専門学校への進学を目指す留学生を対象として進学予備教育を行っています。これらの学生に対し、高等教育機関で学ぶために必要となる日本語力を身につけるべく、初級・中級・上級と段階別に教育を行います。

また、日本の文化・習慣の学習を通じ、豊かな人間性を育み、将来日本と世界の国々の懸け橋となり社会全体に貢献できる人材を育成します。

④設置コース

４月入学　進学２年コース／進学１年コース／準備教育課程１年コース（文科省指定）
７月入学　進学１年９カ月コース
10 月入学　進学１年半コース／準備教育課程１年半コース（文科省指定）
１月入学　進学１年３カ月コース

以上